

プログラム

第1日目 2026年9月26日(土)

講演会場(大阪公立大学医学部 講堂 4F 大講義室)

開会式 8:45~8:50

一般演題 1 [結膜 眼瞼] 8:50~9:50

座長:小幡 博人(埼玉医大・総合医療センター)

柚木 達也(富山大)

01-1 眼周囲に生じたアポクリン汗嚢腫(apocrine hidrocystoma)の4例

○末岡 健太郎、細川 亮、出家 寿々、近間 泰一郎、坂口 裕和
広島大

01-2 再発を繰り返した眼瞼外毛根鞘性嚢腫の1例

○今川 幸宏、中島 温代、松井 千瑛、森田 耕輔
大阪回生病院 眼形成手術センター

01-3 眼瞼結膜アミロイドーシス2例の報告

○有吉 伸顕、砂田 潤希、大西 哲、舩津 法彦、吉本 拓矢、芳川 里奈、内 翔平、
山田 直之、木村 和博
山口大

01-4 長期義眼装用後に下眼瞼結膜より発生した義眼床原発悪性黒色腫の1例

○安藤 克海¹⁾、塩崎 直哉¹⁾、赤木 忠道¹⁾、谷 優佑²⁾、金子 千鶴²⁾、梅津 哉²⁾
1)新潟大 眼科、2)新潟大 臨床病理学

01-5 春季カタルを疑った若年発症眼瞼結膜 MALT リンパ腫の1例

○岩城 嘉、馬詰 和比古、朝蔭 正樹、坪田 欣也、臼井 嘉彦、後藤 浩
東京医大

一般演題 2 [眼窩 涙嚢 1] 9:55~10:55

座長:辻 英貴(がん研究会有明病院)

嘉島 信忠(大浜第一病院 / 聖隷浜松病院)

02-1 導管癌と診断された涙腺多形腺腫源癌の2例

○野牛 悠那¹⁾、朝蔭 正樹¹⁾、谷川 真希²⁾、萬 昂士²⁾、長尾 俊孝²⁾、後藤 浩¹⁾
1)東京医大 眼科、2)東京医大 人体病理

02-2 乳癌による両側の転移性涙腺腫瘍の1例

○朝蔭 正樹¹⁾、高橋 礼典²⁾、佐藤 永一²⁾、石川 孝³⁾、臼井 嘉彦¹⁾
1)東京医大 眼科、2)東京医大 人体病理、3)東京医大 乳腺科

02-3 涙道内視鏡ガイド下に経皮的涙嚢腫瘍切除を行った一症例

○大島 浩一¹⁾、杉本 学²⁾、神農 陽子³⁾、磯田 哲也³⁾
1)岡山医療センター 眼科、2)すぎもと眼科医院、3)岡山医療センター 検査科

02-4 涙嚢部腫瘍として発見されたびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例

○辻中 大生、倉岡 大希、平井 宏昌、水澤 裕太郎、西 智、加瀬 諭
奈良県医大

02-5 眼窩副鼻腔髄外病変を伴う小児の急性骨髄性白血病の一例

○城野 美保、奥 拓明、片岡 佑人、安次嶺 僚哉、渡辺 彰英、外園 千恵
京都府医大

一般演題 3 [眼窩 涙嚢 2] 11:00~11:50

座長：後藤 浩（東京医大）
渡辺 彰英（京都府医大）

03-1 涙嚢部に生じた脂腺癌の 1 例

○山田 祐太郎¹⁾、高比良 雅之¹⁾、佐々木 次壽^{1,2)}、上野 貴雄³⁾、中沢 僚太郎³⁾、
西山 明宏⁴⁾、池田 博子⁵⁾、濱岡 祥子¹⁾、東出 朋巳¹⁾

1) 金沢大 眼科、2) 佐々木眼科、3) 金沢大 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、4) 金沢大 腫瘍内科、
5) 金沢大 病理診断科・病理部

03-2 術前塞栓術を経て眼窩内容除去術を施行した Erdheim-Chester 病の 1 例

○木成 玄、田上 瑞記、東田 太一、本田 茂
大阪公大

03-3 右上顎歯肉癌の再発に対する光免疫療法後に失明をきたした 1 例

○細川 亮、末岡 健太郎、坂口 裕和
広島大

03-4 WHO 眼腫瘍分類で病理診断された 結膜 melanoma in situ の 1 例

○兒玉 達夫^{1,2)}、井田 千紗子³⁾、谷戸 正樹³⁾、長瀬 真実子⁴⁾、新野 大介⁴⁾

1) 島根大 先端がん治療センター、2) 茗山会 清水眼科、3) 島根大 眼科、4) 島根大 病理部

ランチョンセミナー 1 12:05~13:05

共催：参天製薬株式会社

[後天性眼瞼下垂を再考する — 外科治療と新たなアプローチ —]

座長：田上 瑞記（大阪公大）

LS1-1 緑内障手術と眼瞼下垂

○柚木 達也
富山大

LS1-2 後天性眼瞼下垂に対する新たな治療選択肢と最新の眼形成診療

○渡辺 彰英
京都府医大

総会 13:15~13:25

シンポジウム 1 [AI が切り拓く眼腫瘍診療の未来—画像・病理・ゲノム統合による次世代医療—] 13:35~14:35

座長：安積 淳（神戸海星病院）
田上 瑞記（大阪公大）

S1-1 眼腫瘍診療における AI の可能性と限界—患者のための診断支援を考える—

○北村 由香^{1,2)}

1) 株式会社 N Lab、2) 長崎大 情報病理学

S1-2 眼科領域への AI の応用

○西尾 瑞穂
神戸大 放射線医学

一般演題 4 [眼内 眼球] 14:45~15:35

座長：鈴木 茂伸（国立がん研究センター中央病院）

古田 実（相馬中央病院 / 福島県医大）

04-1 眼球外浸潤をきたした髄上皮腫の 1 例

○岸 泰正¹⁾、米田 重規子¹⁾、渡辺 彰英²⁾、上村 和久¹⁾、荒木 祐太郎¹⁾、青沼 宏亮¹⁾、
嘉島 信忠¹⁾

1) 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科、2) 京都府医大 眼科

04-2 若年女性のぶどう膜炎として発症し中枢神経病変を契機に診断された眼内リンパ腫の 1 例

○河田 宙徳¹⁾、坪田 欣也¹⁾、國重 智之²⁾、岡本 史樹²⁾、臼井 嘉彦¹⁾

1) 東京医大、2) 日本医大

04-3 眼窩蜂窩織炎様症状を呈した肺原発非定型カルチノイド脈絡膜転移の 1 例

○清澤 歩美¹⁾、橋本 直樹¹⁾、田邊 美香¹⁾、小出 遼平¹⁾、秋山 雅人¹⁾、篠田 昌宏¹⁾、
高木 健一¹⁾、伊東 守²⁾、園田 康平¹⁾

1) 九州大 眼科、2) 九州大 病態修復内科

04-4 急性増大した毛様体腫瘍一例

○山田 奈央子¹⁾、山口 翔音¹⁾、安積 淳¹⁾、西尾 真理²⁾、井尻 良太³⁾、別宮 史子⁴⁾

1) 神戸海星病院 眼科、2) 加古川中央市民病院 病理診断科、3) 西神戸医療センター 眼科、

4) 西神戸医療センター 産婦人科

アフタヌーンセミナー 15:50~16:30

共催：CynosBio 株式会社

[眼腫瘍の治療後に生じる瞼球癒着への戦略 ― 眼表面再建に対する再生医療の役割 ―]

座長：田上 瑞記（大阪公大）

AS-1 眼腫瘍治療後のアンメットニーズ

○田上 瑞記

大阪公大

AS-2 瞼球癒着の治療選択 保存？再建？+α？

○近間 泰一郎

広島大

招待講演 17:35~18:05

座長：田上 瑞記（大阪公大）

II プロの落語家に学ぶコミュニケーション術

○桂 福丸

落語家

座長：石嶋 漢（さっぽろ眼科・眼形成クリニック）
太田 優（慶應大）

P-1 血管芽腫様所見を伴った VPRT の 1 例

○倉岡 大希¹⁾、平井 宏昌¹⁾、森本 佑¹⁾、酒井 和哉²⁾、吉澤 明彦³⁾、加瀬 諭¹⁾
1) 奈良県医大 眼科、2) 奈良県医大 輸血部、3) 奈良県医大 病理診断学

P-2 著明な眼瞼結膜肥厚を呈し MALT リンパ腫と鑑別を要した結膜アミロイドーシスの 1 例

○眞田 彩音¹⁾、海保 朋未¹⁾、小海 祐太郎²⁾、橋本 隆介¹⁾、四倉 次郎¹⁾、池田 純一郎²⁾、
馬場 隆之¹⁾
1) 千葉大 眼科、2) 千葉大 病理診断科

P-3 涙丘部結膜に発症した Syringocystadenoma Papilliferum(乳頭状汗管嚢胞腺腫)の 1 例

○神出 峻、柚木 達也、高木 康司、平林 健一、林 篤志
富山大

P-4 出血と臭気を伴った巨大結膜扁平上皮癌の 1 例

○新田 凌也、加瀬 諭、辻中 大生
奈良県医大

第2日目 2026年9月27日(日)
講演会場(大阪公立大学医学部 講堂 4F 大講義室)

一般演題 5 [Very Interesting Presentation 基礎 ガイドライン] 8:50~9:50

座長：高比良 雅之(金沢大)
大島 浩一(岡山医療センター)

- 05-1** 眼窩腫瘍との鑑別を要するマイラゲル膨隆摘出 90 症例の臨床的検討
○塩屋 佑介、大庭 慎平、今井 尚徳
関西医大
- 05-2** 結膜原発と眼窩原発の MALT リンパ腫の臨床像の検討
○鈴木 茂伸、山江 晃生
国立がん研究センター中央病院
- 05-3** IgG4 関連眼疾患涙腺病変における IL-4 受容体 α サブユニット陽性細胞の検討
○安積 淳¹⁾、和仁 洋治²⁾
1) 神戸海星病院、2) 姫路赤十字病院 臨床検査科・ゲノム検査科
- 05-4** IgG4 関連眼疾患の診断基準を満たす涙丘部腫瘍の 3 例
○後藤 浩、上田 俊一郎、山川 直之
東京医大

一般演題 6 [Very Interesting Presentation 症例集積検討] 9:50~10:50

座長：加瀬 諭(奈良県医大)
秋山 雅人(九州大)

- 06-1** 眼瞼悪性腫瘍手術における遊離瞼板移植後の角膜障害の検討
○中島 勇魚¹⁾、木戸 一成²⁾、中島 里穂²⁾、溝渕 朋佳¹⁾、角 環¹⁾、山城 健児¹⁾
1) 高知大 眼科、2) 高知大 皮膚科
- 06-2** 転移を来した眼瞼脂腺癌 25 例の臨床的検討
○山江 晃生^{1,2)}、中島 勇魚^{1,3)}、辻 英貴¹⁾
1) がん研究会有明病院、2) 国立がん研究センター中央病院、3) 高知大
- 06-3** 眼付属器リンパ腫初診時の病期に関わる因子の検討
○奥 拓明¹⁾、渡辺 彰英¹⁾、片岡 佑人¹⁾、城野 美保¹⁾、米田 亜規子²⁾、外園 千恵¹⁾
1) 京都府医大、2) 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科
- 06-4** 脈絡膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療後、肝転移に対する重粒子線治療の検討
○小林 なお¹⁾、牧島 弘和¹⁾、若月 優¹⁾、磯崎 哲朗¹⁾、篠藤 誠¹⁾、溝田 淳²⁾、石川 仁¹⁾
1) QST 病院、2) 西葛西・井上眼科病院

ランチョンセミナー 2 11:05~12:05

共催：小野薬品工業株式会社

座長：鈴木 茂伸(国立がん研究センター中央病院)

- LS2** 眼内リンパ腫診療の最新動向 ― 診断と治療の最適化に向けて ―
○蕪城 俊克
自治医大

シンポジウム 2 【我々の眼腫瘍研究は国策と診療の意思決定をつなぐ】 12:20～13:20

座長：臼井 嘉彦（東京医大）

田上 瑞記（大阪公大）

S2-1 希少疾患だからこそ勝てる眼腫瘍研究

○坪田 欣也

東京医大

S2-2 基礎研究の経験を眼腫瘍診療に活かした取り組み

○柚木 達也

富山大

S2-3 眼部悪性腫瘍研究を加速する ～希少がんを克服するために必要なこと～

○秋山 雅人

九州大

S2-4 一介の眼科医が研究に沼った軌跡：柿崎語録を胸に歩んだ研究者人生

○高橋 靖弘

愛知医大 眼形成・眼窩・涙道外科

閉会式 13:20～13:25